

200201 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第 29 回）

名古屋市民オンブズマンによるメモ

10:00

堀田：はじめる

松雄：おはよう

文化庁も来ている

議事：御深井丸

報告：展示収蔵施設

本丸御殿防火

堀田：出席者紹介

三浦、愛知県は休み

瀬口：事務局から説明を

堀田：御深井丸

審議 埋蔵文化財部会を検討

石垣部会構成員 埋蔵文化財は石垣と切り離せない

文化庁 新しい部会を設置するより、全体と部会で役割を整理

12月27日 石垣部会で埋蔵文化財部会設置は撤回と説明

庭園部会、建造物部会とも話をする

仮設物設置 御深井丸地下遺構を把握するための発掘調査等

石垣切っても切り離せない→石垣部会で検討

石垣部会に、地盤工学の専門家 西形先生を入れる

瀬口：前提が仮設物設置のため

発掘調査と読めばよいのか

堀田：そう

瀬口：地盤工学の専門家を入れる

小濱：石垣と地盤のつながり

石垣とはどこか 天守か

つながりとはなにか

瀬口：お願い

村木：図 赤い線

調査区を設置する

北側のグレー S17 外堀の石垣

外堀の内側の石垣

反対側 天守台内堀 グレーに塗ってある U65,U61

仮設物もう少し広い

内堀の外側 背面構造の上

外堀の石垣の背面接する

石垣の背面構造にあたる場所の調査

小濱：よくわからん

地盤工学的なのか、歴史的遺構に関連しているのかわからない

村木：石垣の文化財としての遺構 調査区と重なり

小濱：遺構として何らかのつながりがあるだろう

麓：予定の範囲 右側は天守の礎石を移設している場所

この部分はどういう発掘調査を予定しているか

村木：具体的には石垣部会で検討

礎石がおいてあるところも仮設物の影響があると考え

礎石は保護

ないところで地盤、地下の状況を探る

瀬口：場合によっては赤い範囲が広がることもあるのか？

村木：そう

高瀬：仮設物の資料がない

提示は？

村木：堀の外側から栈橋を設置する予定

図面が提示できず申し訳ない

瀬口：よろしいでしょうか

そしたら、2つについて承認でよいと思います
ありがとう
本日はこれだけが議題
報告は事務局です

堀田：報告事項 展示収蔵施設（仮称）

名古屋城：資料2 重要文化財を収蔵・展示する施設
昨年完成 今年度外構工事
令和2年秋ごろ供用開始を目指す
収蔵庫、収容施設、交流施設
温度、湿度を管理
外構イメージ図 芝生
名称は仮称をとる

堀田：質問は？

瀬口：写真で検討 収蔵庫できた
消火水槽 キュービクルは外部から見えないようにできないか

名古屋城：目隠し、景観に配慮したようにしている
一般のお客さんからは見えない
外堀に面しているので、外堀の植栽に面している
外からも見えない

赤羽：2点

平面図 交流ホール 何に使うのか
配置図外構イメージ トラックヤード
出入口の構造は
どう車が入るのか

名古屋城：交流ホール 名古屋城の歴史を紹介
ワークショップもできるように
トラックヤード スロープを設けて、こちらからバックで入る

赤羽：北側から入るといふことか

名古屋城：はい

赤羽：名古屋城の展示 ワークショップ

現在の閉館中天守 中身はどういう形で継承されるのか？

ここだけで終わるわけではないよね

堀田：交流ホールでは手狭ではないか

重要文化財、障壁画は展示室でやる

赤羽：わかりました

堀田：ありがとう

本丸御殿等の防火対策

昨年 10 月 31 日首里城火災 同日文化庁から通知

防火対策ガイドラインの改訂

名古屋市会で指摘

本丸御殿 法令等の基準を満たしているが、

スプリンクラーをはじめとした消防設備を建造物部会に付議したい

説明は以上

質問は

小濱：火が出た後の対策

おおもとは火が出ないように

漏電が多い 電気の配電盤、分電盤が多いと思う

出さないことのために点検管理 重要だと思う

堀田：貴重なご指摘

火が出た後の対策

もちろん火を出さないことが大切

管理体制もしっかりやっている

今後もやる

瀬口：ひとつ前のところ

展示収蔵施設資料 2

芝はどんな芝か？

堀田：高麗芝

瀬口：在来種ならよい

本丸御殿 今後活用していく方向
使ってなくて配電盤、分電盤が劣化
修理に人が入る
活用時に暖房、冷房がほしい
その時の防火ガイドラインを作してほしい
建造物部会で検討してほしい

堀田：ご指摘のことを検討したい

赤羽：防火対策 記述になる
建造物 消失から守る
人命も考えるべき
人命への配慮 どのような形で人が動くか
文書の中でも人命が大事だと記載を

堀田：人命が大事 当然肝に銘じている
防火訓練 年に数回
人命+建造物を守る
そのほかはないか

丸山：庭園部会 二の丸庭園整備
西の丸 蔵跡 石材を使う
新材を使う→古材を利用してはどうか
石が集められたところ 使えるところは使っては
細工されている石 どこから来たかわからない
石を有効に なれた石は景観的によい
自然石 二の丸広場 けやき 昭和期に広場を作るのに使った
整備するなら再利用できないか
椿園が東 縁石も使われていたのではないか
二の丸庭園 石材調査をぜひやってほしい
お堀の外にも石が置いてある
その当時 撤去せざるを得ない場合は調査を
大きな自然石 なかなか手に入らない
庭園部会 石灯籠 石材を寄付していただく
質の良いもの 受け入れられるように
名古屋城内 将来的に動かさざるをえない石は調査を
礎石が並んだところ 展示で使われている
古材バンク 石材バンクはあまりない

整備していくと役に立つのでは

堀田：ありがとう

今後検討

報告事項2はよいか

瀬口：建造物部会に「消防設備を」は狭い

避難を含めた、文化庁の通知を踏まえたガイドラインを

堀田：幅広に検討してもらいたい

ここまで

文化庁 山下さんが来た

山下：お疲れ様

御深井丸 検討体制ご審議いただいた

事務局提案どおり

これを踏まえて仮設物設置にあたって現況把握を石垣部会でお願いしたい

防火対策 事務局から経緯の説明

首里城

ノートルダム火災 ガイドラインを出した

首里城 復元した建物が燃えた

12月に改訂 復元建造物も国宝等文化財ガイドラインに準じて

本丸御殿は大規模

建造物部会で検討して

堀田：ありがとう

10：40